



志布志サイロ株式会社

Shibushi Silo Co.,Ltd





株式会社 I・フィード

志布志飼料株式会社

株式会社上組

南日本くみあい飼料株式会社

全農サイロ株式会社



日本農産工業株式会社 分工場

日本農産工業株式会社

九州昭和産業株式会社

志布志サイロ株式会社

会社概要

社名 志布志サイロ株式会社
 設立 1985年(昭和60年)1月
 操業 1987年(昭和62年)7月
 資本金 12億円
 敷地面積 22,018,620平方メートル
 所在地 鹿児島県志布志市志布志町志布志字若浜3313番地
 株主 昭和産業株式会社
 三菱商事株式会社
 I-サイロホールディングス株式会社
 (伊藤忠商事株式会社の完全子会社)
 三井物産株式会社
 事業内容 倉庫業・港湾運送事業・通関業・その他
 取扱品目 トウモロコシ・マイロ・大麦・小麦・その他
 主要得意先 九州昭和産業株式会社
 日本農産工業株式会社
 株式会社 I・フィード
 志布志飼料株式会社

会社沿革

1985年1月 会社設立 資本金12億円
 1987年7月 港湾荷役設備及び第一次サイロ(5万t)完成 操業開始
 1988年10月 第二次サイロ(5万t)完成
 1990年9月 トラック出荷設備(200tサイロ×4基)完成
 2001年4月 サイロ搬入量累計1000万t達成
 2001年5月 サイロ搬出量累計1000万t達成
 2001年11月 第三次サイロ(3万t)完成
 2002年2月 常用自家発電設備(996kw×2基)完成
 2010年9月 新事務所完成
 2010年12月 新サイロ運転システム導入
 2021年12月 サイロ出庫船積設備完成

設備概要

岸壁設備	ドルフィン棧橋 接岸可能本船 内水路・内航船	: 全長200m 通常水深-13m : D/W 65,000トン LOA230m : D/W 3,000トン 通常水深-8m
荷役設備	H.L.SKTアンローダー	: 荷役能力600トン/時×2基 トランシップ設備・ジブクレーン付
搬入設備	ベルトコンベアー	: 600トン/時×2系列
保管設備	鋼製円形サイロ (105本)	: 総収容力131,600トン(トウモロコシベース) (1,500トン×76本、1,400トン×7本、700トン×6本、400トン×2本、200トン×14本)
搬出設備	工場直送コンベアー トラック出荷設備	: 200トン/時×4系列 : 200トン/時×2系列・200トンサイロ×4本(第一バラ出荷設備) 200トン/時×1系列(第二バラ出荷設備)
	サイロ出庫船積設備	400トン/時×1系列
その他	常用自家発電設備	: 996kw×2基

プロフィール

鹿児島県は日本最大級の畜産県であり、志布志地区は日本有数の飼料団地となっています。弊社は志布志港に面した若浜地区に昭和60年（1985年）に設立され、昭和62年（1987年）の稼働以来、弊社後背地に展開する飼料工場4社5工場と共に一大飼料コンビナートを形成・発展し、現在に至っております。

同飼料工場4社の、九州昭和産業(株)、日本農産工業(株)、(株)I・フィード、志布志飼料(株)は、弊社株主である昭和産業(株)、三菱商事(株)、伊藤忠商事(株)（弊社の直接株主は同社子会社のI-サイロホールディングス(株)）、三井物産(株)夫々の飼料工場として、主に大隅半島全域や宮崎県南部の畜産農家向けに配合飼料を安定的に製造、供給しております。

弊社は大型船舶が接岸できるバースと大型荷役機械設備、収容力131,600tonのサイロを有し、飼料原料（メイズ・マイロ等）を荷揚げし、各工場へ直結するコンベアーで効率良く供給し、穀物サイロとしての責任を果たしております。

経営理念

穀物の保管・物流を通じ、豊かな社会生活の発展に貢献する

経営方針

- ・ 穀物の安定供給と機械設備の安全操業を実現することで、飼料畜産業の発展に貢献する
- ・ 社員の創造性を高め、不断の挑戦を通じ、夢を実現する活気ある企業を目指す
- ・ 高い倫理観と地域社会への貢献を通じ、社員が志と誇りを持って働く企業を目指す

志布志港について

志布志港は、大隅半島に位置して、志布志湾の奥深くに抱かれて周辺に白砂青松を残し、沖合には特別天然記念物に指定されている亜熱帯性植物群落を持つ枇榔島（びろうじま）を望む風光明媚な良港です。

その歴史は古く、平安時代に開かれた広大な荘園島津荘の唯一の水門（港）として繁栄し海上交易が盛んになった江戸時代には「志布志千軒の町」と呼ばれる程の賑わいでした。

現在では南九州地域における国際物流拠点として発展しています。

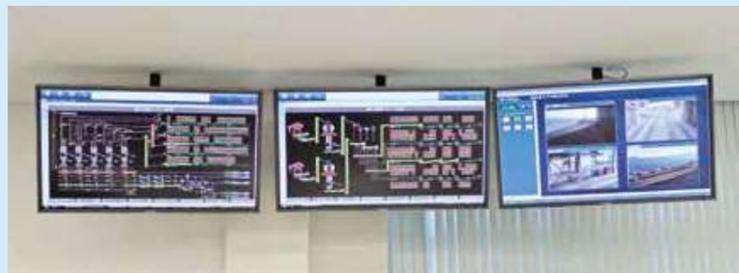
海外供給元



輸送



オペレーション

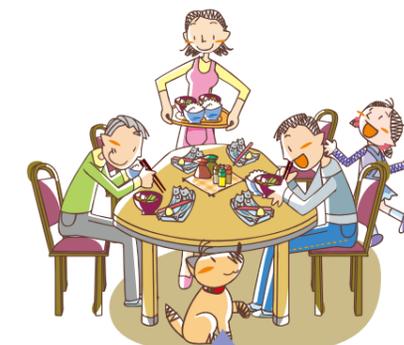


弊社設備の概要

②計量・保管



食卓



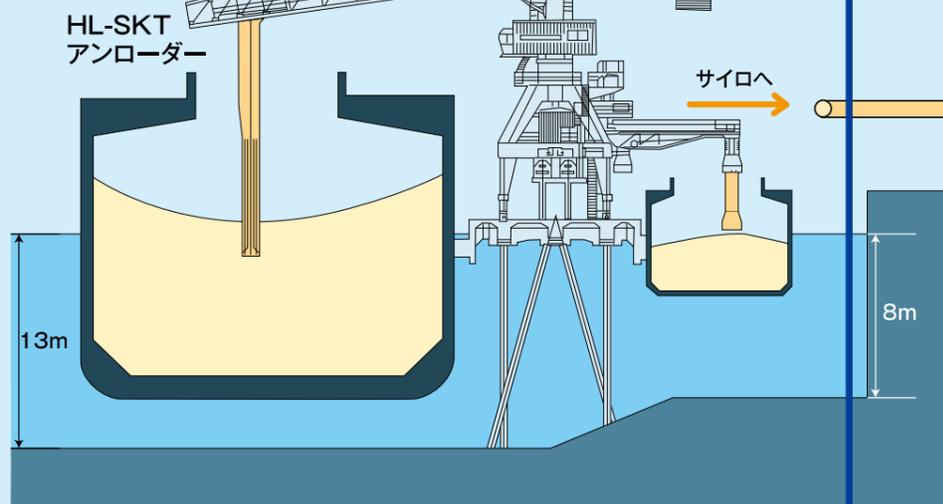
食肉などに加工



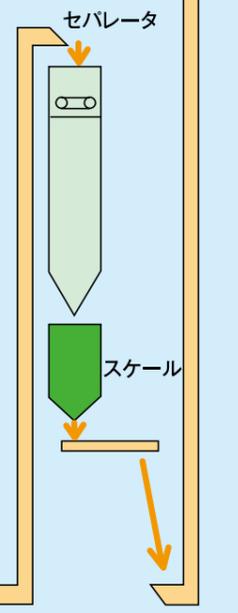
畜産農場



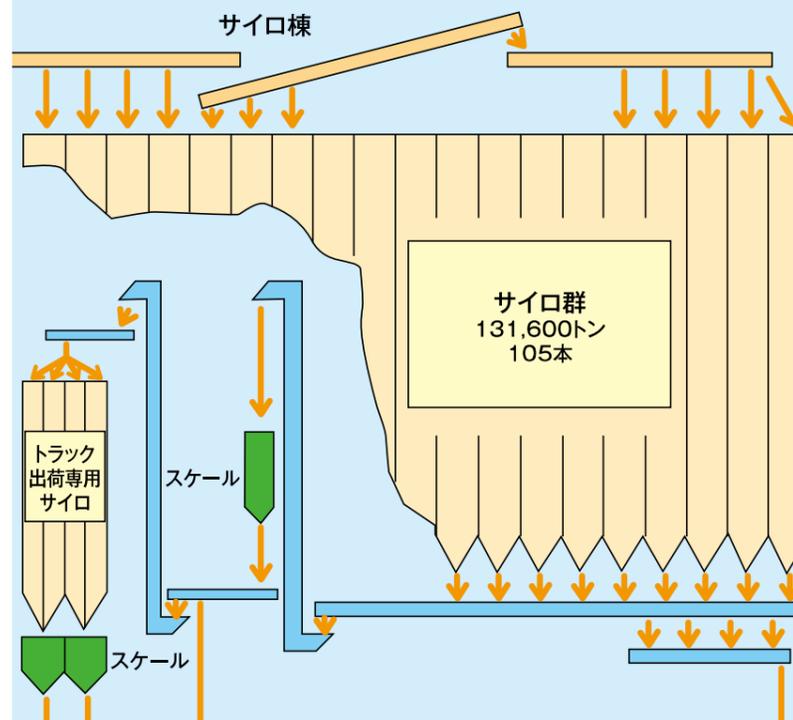
同左工場にて配合飼料を生産



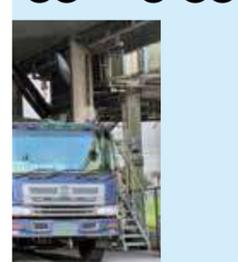
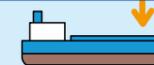
①荷揚げ作業



③トラック出荷



③船積設備



③飼料工場

4社5工場へのコンベア出荷



①荷揚げ作業



パナマックス型などの大型外航船により輸送



最大で600トン/時の荷揚能力を有するアンローダーを2基保有しています。



サイロへの搬入と並行して、内航船への積み込みもできます（トランシップ）。



オペレーション

コンピューターシステムにより、①～③の運転管理、在庫管理及び品質管理が適切に行われます。



②計量・保管



鋼鉄製の円形サイロビンは総計105本有ります。その内7割のサイロビンが高さ40m・直径8.6mと大型で、約1500トン/1本の飼料原料を保管する容量を有しております。アンローダーで荷揚げされた原料はサイロ棟の中に入ると、セパレーターにより、異物除去が行われます。その後、原料種類・産地・船毎に分別、計量後、サイロビンにて保管されます。

③コンベア出荷・トラック出荷・内航船積み



トラック出荷は、タブレット端末による無人受付です。



九州昭和産業（株）・日本農産工業（株）（株）I・フィード・志布志飼料（株）の4社5工場向け専用コンベアにより飼料原料を迅速かつ確実に直送しております。



ダストが飛散せず、フード無しで作業性の良いローダーを採用しています。1系列200トン/時の積み込み能力があります。



サイロより直接搬送する船積設備。400トン/時の積み込み能力があります。

弊社からベルトコンベアにて直結し、飼料原料を供給させて頂いております
飼料工場4社5工場をご紹介します。

今後も弊社は同工場向けを中心に、共に発展、また貢献すべく、尽力したい
と存じます。

九州昭和産業(株)志布志工場



「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを企業理念とする昭和産業(株)グループの下、同社は「九州のアグリビジネスに貢献」を独自理念に、飼料の製造販売、養豚農場の経営等、展開されております。同工場は主要工場として1987年に開設されました。

日本農産工業(株)志布志工場



1987年に同工場は開設され、現在、2012年の分工場開設と併せ、同社飼料工場の中で最大規模となります。2009年に三菱商事(株)の完全子会社となり、同グループの一角として「いのちの営みを通じて、人々の健康と幸せに貢献します」をミッションに事業を展開されております。

(株)I・フィード志布志工場



1987年南九飼料として操業を開始し、2021年8月より伊藤忠飼料完全子会社の「(株)I・フィード」として操業されています。

「特性ある仕事をして社会に貢献する」を実践し、安全・安心で高品質の飼料を生産されております。

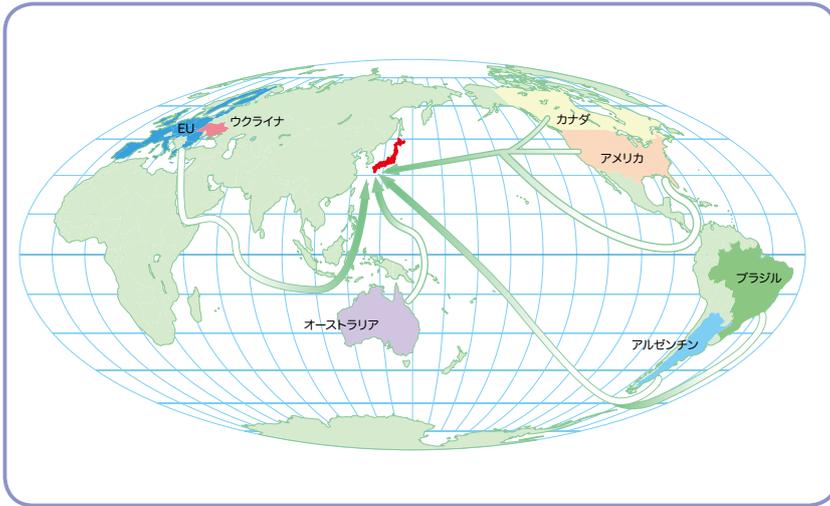
志布志飼料(株)志布志工場



同社は1985年に、協同飼料(株)、日本配合飼料(株)、林兼産業(株)の3社が配合飼料製造を目的に、志布志市に本社を置き設立されました。

「より優れた品質の配合飼料を安全確実に畜産農家にお届けする」ことをモットーに事業を展開されております。

供給元と取扱量



○飼料原料ベース

- ・弊社取扱い
1,213千トン
(トランシップ等含む)

○配合飼料生産量ベース

- ・志布志地区 2,766千トン
内、弊社関係の配合飼料工場
4社にて57%を生産
- ・鹿児島県 4,408千トン
- ・生産量は鹿児島県が全国で第1位
(全国の生産量 24,240千トン)

※令和3年度

アクセスMAP



志布志サイロ株式会社

〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志字若浜3313番地

TEL 099 (473) 0316

FAX 099 (473) 0336

Mail silo@sbss.co.jp WebSite <https://www.sbss.co.jp>